

イノシシによる農作物被害の調査を行いました

平成27年9月8日、えびの市の県営畑地帯総合整備事業 畝倉(あぜくら)地区において発生した、イノシシによる農作物被害状況の調査を行いました。

現地の畑は、地区の谷側に位置し、芋焼酎原料用のかんしょが作付けされており、周囲には網や電柵などでイノシシ対策を講じていましたが、侵入したイノシシによりほぼ全滅状態でした。また、農地の脇にけもの道らしきものがあり、畑へは山裾側から入ったものと思われました。

なお、この地区では、農作物をシカやイノシシから守るため、農地一帯を高さ1.8mの鳥獣侵入防止施設で囲う工事をしておりますが、設置は山側から行う計画であり、今回の畑は翌年度以降に設置予定でした。

今後の対策として、鳥獣侵入防止施設の設置順序を見直しなどについて、地元土地改良区等と協議することとしましたが、鳥獣被害の深刻さや、対策の難しさをあらためて感じました。

(農村整備課農村整備担当)



畑の様子



現状のイノシシ対策



被害を免れたかんしょ



被害のあったかんしょ